

## 「教育と公共」研究部会（第43回）

日時：2023年1月13日（金）13:30～16:30

場所：野間教育研究所（対面）＋オンライン

出席：上野正道・浅井幸子・狩野浩二・田嶋一・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員  
山口和人所長・吉久知延相談役・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：（1）田嶋研究員：「大田堯の『教育は公共的な社会事業』論を手がかりに『教育と公共』の問題を  
考える

### I 大田の公共性論の構造

大田の公共性論は、敗戦直後の本郷町地域教育計画から発して→教育の社会基底調査→生活綴方との出会い→民間教育の歴史への着目→共同体社会の子育ての習俗調査、などを経て深まってきた。ここには一貫して国家本位の教育のあり方には反対する姿勢がある

#### ・参考資料

大田堯・堀尾輝久『教育を改革するとはどういうことか』（1985、岩波書店）

大田堯『教育とは何か』（1990、岩波新書）

日本教育学会「教育をめぐる参加」研究委員会『教育をめぐる参加（協力関係）の研究』（1982）

### II 大田の出発点ーコミュニティ・スクール論・地域教育計画の実践とその「公共性」

→ 次回論じる予定

### （2）浅井研究員：「公共空間としての学校」

論文執筆を視野にこれまで発表してきたものを再構成

1. レッジョ・エミリアの幼児教育
2. 公教育としての幼児教育の成立：「市立」「学校」
3. 教育的コミュニケーション
4. コモン・ワールド
5. 市民としての子どもと子どもの権利

・次回研究会 2023年2月10日（金）13:30～